南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ（日記の一種：掲載許可済み）からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方（滞在の方・避難された方等）が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありません**、同じ市民同士の生の意見として参考までとしていただきたいと思います。**正式な指針は政府**が出しますのでそちらにしたがう事で各種補償も受けられます。どうぞその点を誤解なきようお読みください。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、協力・印刷・配布：長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ　配布協力避難所：新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、福島県福島市内ほか

新聞 PDF 置場　http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

特集　南相馬の1つの奇跡

～南相馬市のマリさんと二十数匹の動物～

全国各地の避難所にいられる皆さん。南相馬市に一つの奇跡が起きました。これは一人の被災者の動物への愛が起こした命の物語です。

マリさんはこの南相馬ブログ新聞でいつも南相馬市関係の情報を連載で伝えていただいています。そしてブログには３月中旬からご夫婦で一時関西に避難されて４月の上旬に南相馬市に帰られ、また出てゆかれることになりそうな経過も書かれています。この特集はそのブログの中の動物達の保護に関与された軌跡を追いつつ私（この新聞の編集担当）が解説を加えたものです。

ボランティア　2011-04-05

今日はボランティア団体の方には行かず
友人の留守宅のボランティアを
うさちゃんたちに水と餌

ダチョウさんにも
餌（水はあった）

そのあとアヒル
に餌をやって

鶏に水とやっぱり餌
もちろん他の動物たちにも
新しい水と餌を
たっぷりやって
きたので安心して
ね

残念なことに死んでしまった
鴨、クジャク、うさぎ、チャボの
お墓
穴を掘って埋めてやりました
墓石代わりに石
を置いてきました
安らかに…
人だけじゃない
動物だって被害者だ

（**解説**：この記事がマリさんと動物たちの最初の記事です。飼い主は知人のようですが避難されて動物たちの世話が出来ない状況のようです。埋葬する作業は大変なものだったことでしょう。犬を飼われているマリさんには見過ごすことが出来なかったようです。）

余震・餌やり　2011-04-08

昨日の余震は大きかったですが
ライフラインに異常はありませんでした
少しほっとしましたがやっぱり怖いです

今日は雨が降りそうなので
用事を早く済ませて
家に籠る予定

ダチョウさんのえさは
カラでした
ごめんねー待たせた
ねー

アヒルのえさはま
だありました

こいつらは草とか
も食べてるのかな

フミちゃん、桜も咲
き出したよ

まだこんなだけどね

今回の雨はたぶん放
射能を帯びているだ
ろうとダンナから外出
禁止を言い渡されま
した
あと、もう一回荷物を
佐川の営業所まで持っていったら
今日は家で待機です
雨降ったらマルスも散歩に行けないね
ごめんね　（編集者注:マルスはペットの犬の名前）

鳥・兎問題のこと　2011-04-11

しんどくて寝ようと思ったけど
やっぱり書いておかなくてはいけないので少し
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
このダチョウをはじめ、鶏、七面鳥、鶏、アヒル、ガチョウ、兎たちは「計画避難区域内」の動物たちです
彼らは外で飼われています
つまりこれは少なくない量の「被曝をしている」ということです

動物園やたくさんの動物のいるところに対応してもらっても放射能を浴びた動物たちから産まれた子どものことを考えると簡単に貰ってもらえないのです
それ相応の覚悟をしなければいけないのです

ダンナに頼んで電話で飼い主に話してもらい
彼らに地域外に住んで通いで生かしてもらうという道を見いだしてもらいました

それも確定ではありません
あとは飼い主の方が決めることなので
わたしには何も言えません

避難している彼らが帰ってくるまではわたしとダンナが餌をやりに行くつもりでいます
でも帰ってくるかどうかも確定ではありません
そしていつ帰ってくるかわからない彼らを待つこともできるかどうかはわかりません
私たちもここでは仕事がないのです

たくさんの人に見ていただき
いろいろな意見を出してもらいありがたいと思います
一応は明日、皆さんに聞いた施設に聞いてみます
でも被曝した動物を引き取ってもらえるか確約できないのは事実です
こんな結果しか書けないことをお許し下さい

（**解説**:マリさんはこのブログのほかにツイッター（短文即時ネットワーク的なもの）もやられていて全国の方と話しています。この日の政府発表？を受けて「私たちもここを出ることになりそう」と語っています。）

各種鳥類、ウサギの里親を募集しています！

2011-04-19

福島県南相馬市原町区馬場にいる動物たちの引取先をさがしています！

◎飼い主の了承あり
旅館（飼い主は旅館主です）は避難区域が解除にならない限り帰ってこないそうです。
従って、動物を手放すことはご主人に了承を得ています。
◎4 月 16 日現在の状況
福島県南相馬市内馬場地区で、多種多頭飼育されています。
飼い主は家の様子を見に帰りたいと考え中ですが日程は不明です。
飼い主は今は帰ってくる予定は立てていないそうです。
私たちも生活のため遠方に引っ越し予定です。
状況によっては、動物たちは放置され飢死します。
ただどうにかして生きのびてほしいのです。
◎放射線を浴びています。
飼うことには危険はありませんが、汚染水からの体内被曝が考えられます。卵はもちろん鳥を食べることも出来ません。奇形等が産まれる可能性があります。多くの鳥たちと一緒に飼う…例えば、公共施設などで他の鳥とまとめて飼うこともオススメできません。
◎慣れていません。
ウサギなど、屋外のオリで集団生活していたため、愛玩用として向いているかどうかは疑問です。
以上をふまえ、それでも、飼っても良いと思ってくださる方を探しています。

◎動物の種類
ダチョウ（2羽、成鳥）

ミニうさぎ（およそ5、6羽）

にわとり（雄鶏 1 羽、雌鳥およそ7羽）

アヒル（5羽）、ガチョウ（1羽）

クジャク（雄1羽）
七面鳥（雄 1 羽、雌 3 羽）
※犬やいたちに襲われ、アヒルは徐々に数が減っています。

◎引き取り方について
何羽でも引き取っていただければ嬉しいです。
南相馬市には、輸送手段がありません。
車で引き取りにきて頂ける方お願いいたします。

◎連絡先は
森岡真理（原町区ですが馬場ではありません）
morimarion@hotmail.com まで

どうか、直接飼ってくださる「ご本人」がメールください。
よろしくお願い致します。

（**解説：この日はツイッターとブログに計** 18 件もの意見・提言・励ましが寄せられています。）

お願い　2011-04-20

動物に対してのコメント、ツイート、メール宛に…

いろいろ提言してくれてありがとうございます
今思う本音をここに書かせていただきます

この子たちはわたしの所有物ではありません
所有者に頼まれたものでもありません
すべてはわたしの独断で動いています
夫には「内部被曝した動物を他の動物たちの中に
紛れ込ませることには反対だ、無責任だ」と言われて

います
わたしもそれに反論は出来ません
わたしの利己的な行いにより被害を拡大させることへの責任の重さ、重大さに心が揺れています

提言はありがたいのですが
責任が全部わたしにかかってきます
だから
言われた通り動けないことを許して下さい
わたしはわたしが責任を持てる最大限の努力はしています
提言の中で「これなら…」と思うところへはアクセスしています
だから「言ったのになぜ電話しないんだ、コンタクトとらないんだ」と
責めないで下さい
どうかわかってください
わたしはわたしにできる最大限の努力をしています
それを足りないと思う人は
ご本人がここに来て直に手伝って下さい
その上でご自分にも責任が取れると思う行動を起こして下さい

一人でできることには限界があるのです

すいません
心優しい方々へ少々きつい言い方になったかもしれませんが
これがわたしの本音です

(**解説**:マリさんの出口の見えない困り果てた記事に対しツイッター11 件とブログに7件のどちらかというと諦めた慰めの言葉が寄せられています。(私も遅ればせながら公的動物愛護団体や環境省へ問い合わせ電話しましたがそれぞれの今現在の仕事の守備範囲外でした。私の目には解決策無しでした。)
マリさんもかなり疲れていられたようで凹んだ書き込みになっていました。
多くの人がほぼ諦めていました。)

でもマリさんはその時点で打てる手は全て打っていたのです・・・

ボランティアの人に　2011-04-21

今朝早く
ダチョウ以外の鳥やウサギを
東京のボランティアの人に引き渡しました
きちんとした団体で一旦獣医のもとに預けられ
そこから各個人様に譲渡されるようです
ウサギ、鶏、アヒルならまだしも
七面鳥やガチョウ、クジャクなども預かっていただけて
とても感謝しています
少しだけですがえさ代と車の賃料の足しにでもなればと寄付をしたら
「ありがとうございます」と言われました
「ありがとうございます」と言わなければいけないのはこっちなのに
とても尊い行いを見せていただいた気がしました
他にも犬を 7 頭ほどピックアップして東京に帰るそうです
ありがとう、本当にありがとうございました

あと残るはダチョウ 2 羽です
残る時間をこの鳥たちのために
できるだけ動いてあげたい
今はそれしかできません

(**解説**:奇跡は起きました。誰もが諦めかけたときに動物愛護団体の一つが手を差し伸べてくれました。)
マリさんの強い願いは通じました。
動物たちは助かりました。

その後のお話

その奇跡のように現れた動物愛護団体は「動物愛護団体ランコントレ・ミグノン」というところだそうです。
ホームページに活動内容・寄付先も載っています。
http://mignonpics.web.fc2.com/RencontrerMignon/RencontrerMignon.html
残ったダチョウの引き取り先もほぼ決まったそうです。

～マリさんは全てを成し遂げました～

南相馬市に一つの奇跡が起きたのです

##

編集より:今日は特集にいたしました。他のブログも素敵な記事がありましたが、それはまた明日以降。